第五講 ・ ぼくらのサイテーの夏（物語文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

［タバコの火のふしまつから出火］
［火元は二階のベランダ付近］

新聞の地方版のすみには、そんな小さな記事が出ていた。①人ごとじゃない、という顔をして、おかあさんは目をうるませていた。あにきとぼくは、食事をやめて、栗田の家に走っていった。ケーキ屋のかどをまがると、すぐに、家の形をのこしたまんま、むきだしになった鉄の柱が、ぼくらの前に立ちふさがった。なにかがこげたようなにおいが、そこいらじゅうにただよっていた。門にさがったロープのおくは［立ち入り禁止］になっていて、警察の人や、消防の人が、うろうろしているすがたが見えた。

栗田は、そこにはいなかった。

ぼくらは、たまたま道に出てきた近所の人に、わけを話して、火事のようすをいろいろ聞いた。ベランダから火が見えたとき、まだ、なかにいたおじさんが、「一一九番、お願いします！」と、何度も声をはりあげたこと。のぞみちゃんと栗田の二人は、さんぽに出ていてぶじだったけど、消火のときに、おじさんが手に軽いやけどを負ったこと。消火が終わって二時間もすると、親戚の人がやってきて、二人の子どもを休ませるために、どこかにつれていったこと。

「どこへ行ったか、わかりませんか。」

「さぁ、②そこまでは、わたしもねぇ。なにしろ、あんまり近所づきあいをされないおたくだったから。」

そのおばさんは、そういいながら、歩道の上に飛びちっている燃えかすのような黒っぽいゴミを、大

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

きなクマデで集めはじめた。消火の水をたっぷりすって、でろんでろんにふくれてしまった栗田の本や教科書が、ゴミにまぎれてちらちら見えた。

③頭の中がじんとしびれて、なにがなんだかわからなかった。

夢じゃない。これはほんとうのこと。ほんとうに起きた火事のあと。と、いくら自分にいい聞かせても、実感がわいてこなかった。

「すごかったぜぇ。水のいきおいで、ガラスがばんばん割れるんだ。」

④三丁目に住む久保田と川井は、火事の現場を見た、といって、つぎの日も、そのつぎの日も、塾のロビーでさわぎまくった。火につつまれたやしきのなかから飛びだしたとき、おじさんは、ハムスターの大きなオリを、むねにかかえていたんだそうだ。

「ああいうときって、フツーはさ、金庫とか持って逃げないか？」

「そう、完全にパニクってたよな、あのおやじ。な。」

と、二人はいった。ぼくは、やつらをけちょんけちょんにやっつけようか、と思ったけれど、それは、とってもくだらないことのような気がして、がまんした。

〈笹生陽子「ぼくらのサイテーの夏」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「人ごとじゃない」とは、どういう意味ですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　だれかの手を借りて行ったのではない。

イ　やろうと思って、自分でできることではない。

ウ　自分には関係がないと、のんきにしていられない。

(2)　新聞の記事を読んで、「ぼく」があわてた様子がわかる一文を文中からさがし、初めの五字を答えなさい。

(3)　近所の人が「ぼく」に話してくれた内容が書かれているのは、どの部分ですか。初めと終わりの六字を答えなさい。（。もふくむ。）

〜

(4)　――線②「そこまで」とは、何をさしていますか。「〜ということまで。」に続く形で書きなさい。

ということまで。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(5) ――線③「頭の中がじんとしびれて、なにがなんだかわからなかった」とありますが、このときの「ぼく」の気持ちとしてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　栗田とのぞみちゃんは無事（ぶじ）だということを知って、心からほっとしている。

イ　栗田の家が火事にあってしまったということが、まだ信（しん）じられないでいる。

ウ　くわしい話を教えてくれた近所の人に、お礼を言おうかどうしようかまよっている。

エ　火事が起きてしまった理由を知ることができず、いらいらしている。

□

(6) ――線④「三丁目に住む～さわぎまくった。」とありますが、二人がさわいだのはなぜですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　心配しているから。

イ　不安（ふあん）になっているから。

ウ　おもしろがっているから。

エ　助けになりたいから。

□

(7) ――線④を聞いたときのぼくの気持ちは、どんな気持ちですか。次の□に入る言葉を、文中からぬき出しなさい。

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□と思ったが、□□□□□気がして、□□□した。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講・確認(かくにん)テスト

次のうち、送りがなの正しいものを選びなさい。

1　かんがえる
ア　考る　　イ　考える
ウ　考がえる　　エ　考んがえる

2　おしえる
ア　教　　イ　教る
ウ　教える　　エ　教しえる

3　あたたかい
ア　温い　　イ　温かい
ウ　温たかい　　エ　温たたかい

4　たのしい
ア　楽　　イ　楽い
ウ　楽しい　　エ　楽のしい

5　くるしい
ア　苦　　イ　苦い
ウ　苦しい　　エ　苦るしい

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　ぼくらのサイテーの夏（物語文）

一題目

(1) ウ
(2) あにきとぼ
(3) ベランダから～いったこと。
(4) (例)どこへ行ったか(ということまで。)
(5) イ
(6) ウ
(7) やつらをけちょんけちょんにやっつけようか・くだらない・がまん

〈確認テストの解答〉

１　イ　２　ウ　３　イ　４　ウ　５　ウ

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。